



平成31年3月期 第1四半期決算短信(日本基準)(連結)

平成30年8月8日

上場会社名 天昇電気工業株式会社
 コード番号 6776 URL <https://www.tensho-plastic.co.jp/>

上場取引所 東

代表者 (役職名) 取締役社長 (氏名) 石川 忠彦

問合せ先責任者 (役職名) 取締役経理本部長 (氏名) 沼口 和成

TEL 042-788-1880

四半期報告書提出予定日 平成30年8月10日

配当支払開始予定日

四半期決算補足説明資料作成の有無 : 無

四半期決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

1. 平成31年3月期第1四半期の連結業績(平成30年4月1日～平成30年6月30日)

(1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
31年3月期第1四半期	3,582	1.2	174	36.7	192	33.4	54	72.3
30年3月期第1四半期	3,627	2.4	275	15.5	289	29.7	196	34.3

(注) 包括利益 31年3月期第1四半期 79百万円 (55.8%) 30年3月期第1四半期 179百万円 (%)

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
31年3月期第1四半期	3.29	
30年3月期第1四半期	11.87	

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率	1株当たり純資産
	百万円	百万円	%	円 銭
31年3月期第1四半期	15,877	5,780	33.7	322.32
30年3月期	15,361	5,319	34.6	320.53

(参考) 自己資本 31年3月期第1四半期 5,349百万円 30年3月期 5,319百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
30年3月期		0.00		3.00	3.00
31年3月期					
31年3月期(予想)				3.00	3.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

3. 平成31年3月期の連結業績予想(平成30年4月1日～平成31年3月31日)

(%表示は、通期は対前期、四半期は対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する当期純利益		1株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
第2四半期(累計)	7,500	0.0	300	49.5	280	52.1	190	52.6	11.45
通期	16,500	6.1	860	31.8	820	29.3	540	33.3	32.54

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動) : 有

新規 1 社 (社名) 天昇アメリカコーポレーション、 除外 社 (社名)

(注) 詳細は、添付資料P8「2. 四半期連結財務諸表及び主な注記(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項(当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動)」をご覧ください。

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 有

(注) 詳細は、添付資料P8「2. 四半期連結財務諸表及び主な注記(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項(四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用)」をご覧ください。

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無

以外の会計方針の変更 : 無

会計上の見積りの変更 : 無

修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数(普通株式)

期末発行済株式数(自己株式を含む)

31年3月期1Q	17,014,000 株	30年3月期	17,014,000 株
31年3月期1Q	417,836 株	30年3月期	417,836 株
31年3月期1Q	16,596,164 株	30年3月期1Q	16,596,392 株

期末自己株式数

期中平均株式数(四半期累計)

四半期決算短信は公認会計士又は監査法人の四半期レビューの対象外です

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	P2
(1) 経営成績に関する説明	P2
(2) 財政状態に関する説明	P2
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	P3
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記	P4
(1) 四半期連結貸借対照表	P4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	P6
四半期連結損益計算書	
第1四半期連結累計期間	P6
四半期連結包括利益計算書	
第1四半期連結累計期間	P7
(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	P8
(継続企業の前提に関する注記)	P8
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	P8
(当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動)	P8
(四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用)	P8
(追加情報)	P8
(セグメント情報等)	P9

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

当第1四半期連結累計期間における我が国経済は、政府による経済政策などにより雇用・所得環境や企業収益の改善が見られ、個人消費や設備投資など緩やかな回復基調にあるものの、米中貿易摩擦による海外経済の不確実性など景気の先行きは不透明な状況が続いております。

このような状況下、当社グループは前連結会計年度に引き続き売上拡大に向け営業強化を図るとともに工程改善や生産効率の向上及び原価低減に取り組んでまいりました。

尚、当第1四半期末におきまして、持分法適用会社でありました天昇アメリカコーポレーションの株式を追加取得し同社及びその子会社である天昇メキシココーポレーション、TMCロサリートを連結子会社としております。当第1四半期連結累計期間においては同社の貸借対照表のみを連結しており、四半期連結損益計算書には同社の業績は持分法適用分を計上しております。

当第1四半期連結累計期間の業績は、売上高35億82百万円（前年同四半期比1.2%減）、損益面におきましては、徹底した原価低減は継続しておりますが、天昇アメリカコーポレーション子会社化に伴うのれんの一括償却、新型自動車の量産開始準備に伴う先行経費の計上等により営業利益1億74百万円（前年同四半期比36.7%減）、営業外収益を為替差益を計上したこと等により経常利益1億92百万円（前年同四半期比33.4%減）、特別損失に子会社株式の段階取得に係る差損を計上したこと等により親会社株主に帰属する四半期純利益54百万円（前年同四半期比72.3%減）となりました。

当第1四半期連結累計期間において、天昇アメリカコーポレーションの株式を追加取得し、新たに連結の範囲に含めており、「アメリカ成形関連事業」として報告セグメントを追加しております。

セグメントごとの状況は、以下のとおりであります。

日本成形関連事業

自動車部品は、昨年に引き続き堅調に推移いたしました。雨水貯留浸透槽製品の売上高は新製品の販売開始に伴い好調に推移いたしました。この結果、売上高は34億56百万円（前年同四半期比0.4%増）、セグメント利益につきましては、多量の新型自動車の量産開始に伴う先行経費の計上等により、1億63百万円（前年同四半期比15.0%減）となりました。

中国成形関連事業

中国国内では、物流産業資材及び機構品部品の売上拡大に努めておりますが、販売不振が持続し厳しい状況で推移いたしました。この結果、売上高は50百万円（前年同四半期比35.7%減）、徹底した原価低減、販売管理費の削減等を推し進めましたがセグメント損失4百万円（前年同四半期0百万円の利益）となりました。

アメリカ成形関連事業

当第1四半期連結累計期間において子会社化に伴うのれんを一括償却しております。この結果セグメント損失42百万円となりました。

不動産関連事業

相模原市、伊賀市、伊那市の賃貸建物及び二本松市所在の土地から構成されております。売上高は75百万円（前年同四半期比28.3%減）、セグメント利益58百万円（前年同四半期比28.6%減）となりました。

(2) 財政状態に関する説明

①資産

当第1四半期連結会計期間末の総資産は、158億77百万円（前連結会計年度末比5億16百万円増）となりました。

流動資産は、現金及び預金31億25百万円（前連結会計年度末比44百万円増）、受取手形及び売掛金が25億47百万円（前連結会計年度末比2億20百万円減）等により78億35百万円（前連結会計年度末比1億79百万円減）となりました。

固定資産は、有形固定資産74億91百万円（前連結会計年度末比14億14百万円増）、投資その他の資産4億77百万円（前連結会計年度末比7億12百万円減）等により80億42百万円（前連結会計年度末比6億96百万円増）となりました。

②負債

負債合計は、100億97百万円（前連結会計年度末比55百万円増）となりました。

流動負債は、支払手形及び買掛金18億16百万円（前連結会計年度末比1億34百万円減）、電子記録債務23億91百万円（前連結会計年度末比1億28百万円増）等により68億25百万円（前連結会計年度末比3億57百万円減）となりました。

固定負債は、長期借入金23億84百万円（前連結会計年度末比4億66百万円増）等により、32億72百万円（前連結会計年度末比4億12百万円増）となりました。

③純資産

純資産合計は、親会社株主に帰属する四半期純利益の計上及び為替換算調整勘定の変動、非支配株主持分の計上等により57億80百万円（前連結会計年度末比4億61百万円増）となりました。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

平成31年3月期の連結業績につきましては、平成30年5月14日に公表いたしました業績予想に修正はありません。

2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (平成30年3月31日)	当第1四半期連結会計期間 (平成30年6月30日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	3,081	3,125
受取手形及び売掛金	2,767	2,547
電子記録債権	1,036	987
製品	317	349
原材料	444	567
仕掛品	50	69
その他	317	188
流動資産合計	8,015	7,835
固定資産		
有形固定資産		
建物(純額)	1,713	2,348
土地	2,307	2,887
その他(純額)	2,055	2,256
有形固定資産合計	6,077	7,491
無形固定資産	78	72
投資その他の資産		
投資有価証券	768	280
その他	446	222
貸倒引当金	△24	△24
投資その他の資産合計	1,190	477
固定資産合計	7,345	8,042
資産合計	15,361	15,877
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	1,950	1,816
電子記録債務	2,262	2,391
短期借入金	600	200
1年内返済予定の長期借入金	704	964
未払法人税等	229	90
賞与引当金	180	86
その他	1,254	1,276
流動負債合計	7,182	6,825
固定負債		
長期借入金	1,918	2,384
資産除去債務	20	20
その他	919	866
固定負債合計	2,859	3,272
負債合計	10,041	10,097

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (平成30年3月31日)	当第1四半期連結会計期間 (平成30年6月30日)
純資産の部		
株主資本		
資本金	1,208	1,208
資本剰余金	897	897
利益剰余金	3,126	3,131
自己株式	△42	△42
株主資本合計	5,190	5,195
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	128	117
為替換算調整勘定	0	37
その他の包括利益累計額合計	129	154
非支配株主持分	—	431
純資産合計	5,319	5,780
負債純資産合計	15,361	15,877

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書
 (四半期連結損益計算書)
 (第1四半期連結累計期間)

(単位：百万円)

	前第1四半期連結累計期間 (自平成29年4月1日 至平成29年6月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自平成30年4月1日 至平成30年6月30日)
売上高	3,627	3,582
売上原価	2,829	2,836
売上総利益	798	746
販売費及び一般管理費	522	571
営業利益	275	174
営業外収益		
受取利息	3	2
受取配当金	3	3
為替差益	10	26
持分法による投資利益	6	—
その他	5	3
営業外収益合計	28	36
営業外費用		
支払利息	15	8
持分法による投資損失	—	9
その他	0	0
営業外費用合計	15	18
経常利益	289	192
特別利益		
有形固定資産売却益	—	1
特別利益合計	—	1
特別損失		
固定資産除却損	0	0
段階取得に係る差損	—	58
特別損失合計	0	59
税金等調整前四半期純利益	288	135
法人税等	91	80
四半期純利益	196	54
非支配株主に帰属する四半期純利益	—	—
親会社株主に帰属する四半期純利益	196	54

(四半期連結包括利益計算書)
(第1四半期連結累計期間)

(単位：百万円)

	前第1四半期連結累計期間 (自 平成29年4月1日 至 平成29年6月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自 平成30年4月1日 至 平成30年6月30日)
四半期純利益	196	54
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	6	△11
為替換算調整勘定	△5	△16
持分法適用会社に対する持分相当額	△18	52
その他の包括利益合計	△17	24
四半期包括利益	179	79
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	179	79
非支配株主に係る四半期包括利益	—	—

(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動)

当第1四半期末におきまして、持分法適用会社でありました天昇アメリカコーポレーションの株式を追加取得し同社及びその子会社である天昇メキシココーポレーション、TMCロサリートを連結の範囲に含めております。

なお、天昇アメリカコーポレーションは当社の特定子会社に該当しております。

(四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用)

税金費用については、当第1四半期連結会計期間を含む連結会計年度の税引前当期純利益に対する税効果会計適用後の実効税率を合理的に見積り、税引前四半期純利益に当該見積実効税率を乗じて計算する方法を採用しております。

ただし、当該見積実効税率を用いて税金費用を計算すると著しく合理性を欠く結果となる場合は、法定実効税率を使用する方法によっております。

(追加情報)

(「『税効果会計に係る会計基準』の一部改正」等の適用)

「『税効果会計に係る会計基準』の一部改正」(企業会計基準第28号 平成30年2月16日)等を当第1四半期連結会計期間から適用しており、繰延税金資産は投資その他の資産の区分に表示し、繰延税金負債は固定負債の区分に表示しております。

(セグメント情報等)

【セグメント情報】

I 前第1四半期連結累計期間(自平成29年4月1日至平成29年6月30日)
報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

	報告セグメント				
	日本成形 関連事業	中国成形 関連事業	アメリカ成形 関連事業	不動産 関連事業	計
売上高					
外部顧客に対する売上高	3,443	78	—	105	3,627
セグメント間の内部売上高又は振替高	—	—	—	—	—
計	3,443	78	—	105	3,627
セグメント利益	192	0	—	82	275

(単位：百万円)

	調整額	四半期連結損益 計算書計上額 (注)
売上高		
外部顧客に対する売上高	—	3,627
セグメント間の内部売上高又は振替高	—	—
計	—	3,627
セグメント利益	—	275

(注) 報告セグメントの利益は、営業利益ベースの数値であります。

II 当第1四半期連結累計期間(自平成30年4月1日至平成30年6月30日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

	報告セグメント				
	日本成形 関連事業	中国成形 関連事業	アメリカ成形 関連事業	不動産 関連事業	計
売上高					
外部顧客に対する売上高	3,456	50	—	75	3,582
セグメント間の内部売上高又は振替高	0	15	—	—	15
計	3,456	65	—	75	3,597
セグメント利益又は損失(△)	163	△4	△42	58	174

(単位：百万円)

	調整額 (注1)	四半期連結損益 計算書計上額 (注2)
売上高		
外部顧客に対する売上高	—	3,582
セグメント間の内部売上高又は振替高	△15	—
計	△15	3,582
セグメント利益又は損失(△)	—	174

(注1) セグメント調整額はセグメント間取引消去15百万円であります。

(注2) 報告セグメントの利益又は損失は、営業利益ベースの数値であります。

2. 報告セグメントの変更等に関する事項

(報告セグメントの追加)

当第1四半期末において、天昇アメリカコーポレーションの株式を追加取得し、新たに連結の範囲に含めており、「アメリカ成形関連事業」として報告セグメントを追加しております。なお、当第1四半期連結累計期間においては同社の貸借対照表のみを連結しており、セグメント損益に同社の業績は含まれておりませんが、子会社化に伴うのれんを一括償却し計上しております。

これにより報告セグメントを「日本成形関連事業」、「中国成形関連事業」、「アメリカ成形関連事業」、「不動産関連事業」の4区分に変更しております。

なお、前第1四半期連結累計期間セグメント情報は当第1四半期連結累計期間の報告セグメント区分に基づき作成したものを開示しております。

3. 報告セグメントごとの資産に関する情報

(子会社の取得による資産の著しい増加)

当第1四半期末において、天昇アメリカコーポレーションの株式を追加取得し、新たに連結の範囲に含めております。

これにより、当第1四半期連結会計期間の報告セグメントの資産の金額は、「アメリカ成形関連事業」において1,939百万円となっております。

4. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

(のれんの金額の重要な変動)

「アメリカ成形関連事業」において、天昇アメリカコーポレーション株式追加取得に伴い発生したのれんを一括償却しております。当該償却額については、当第1四半期連結累計期間において「のれん償却額」として42百万円の計上をしております。

なお、当該金額は暫定的に算出された金額であります。